

にしじ

特集

高知医療センター看護局
新人研修の1年 P3~5

12

DECEMBER.2010 Vol.62

- 退任のご挨拶（企業長 山崎隆章） P2
- 地域医療連携病院のご紹介（医療法人白菊会 白菊園病院） P7
- 高知医療センターイベント情報 P8



11月16日にオリックスパファローズの古川秀一投手、甲斐拓哉投手、比嘉幹貴投手、阿南徹投手が慰問のため来院されました。

高知医療センターの基本理念
 医療の主人公は患者さん
 高知医療センターの基本目標

1. 医療の質の向上
2. 患者さんサービスの向上
3. 病院経営の効率化

退任のご挨拶

前企業長 山崎 隆章



高知医療センターが、県や市に大きく頼ることなく健全に運営できる「自立した病院」として、県民・市民の皆様の期待に応えられる病院となりますことを願っています。

突然ではありますが、私は、11月末をもって企業長の職を退任いたしました。

私の任期は、来年3月末の予定でしたので、それ以降のことは、当然ですが新しい企業長に託さなければなりません。

平成23年度は、高知医療センターとして、どうしても達成しなければならない命題であります経常収支の黒字化があります。

それに向けては、中期の経営改善計画（改革プラン）の実行をしていかなければなりません。23年度の予算編成やアクションプランの実行は、新しい企業長のもとで早く行うべきと考え、任命権者である県知事と高知市長に辞任を申し出ていたところです。

私は、平成19年4月から3年8カ月の間、企業長の職にありましたが、この間、高知医療センターの基本目標である「医療の質の向上」、「患者さんサービスの向上」、「病院経営の効率化」に微力ながら努めてきました。

特定共同指導や病院の医療機能評価の認定を特別な緊張の中で受けることによって、こ

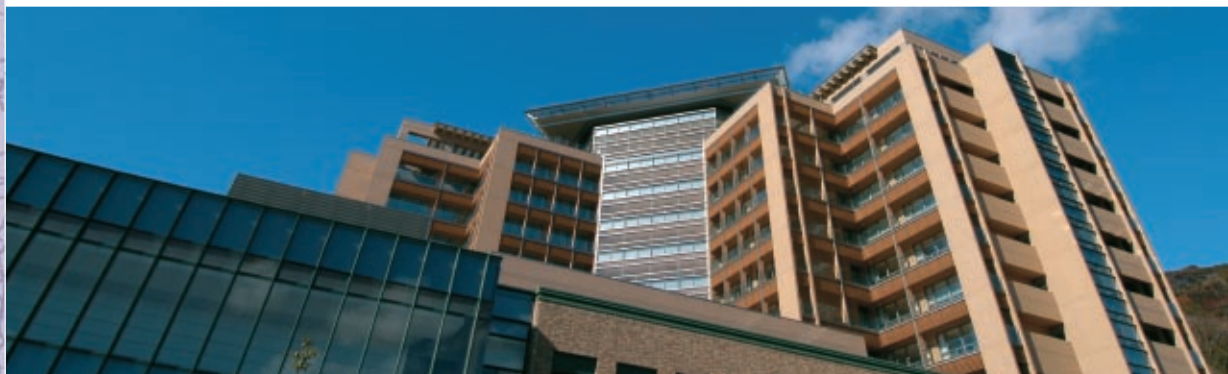
れを契機に、医療の質の向上や患者さんサービスの向上に向け、職員は大きく意識を変革していきまし、開院以来の混乱をも断ち切ることができたと思っています。

病院経営の効率化については、PFI事業の解約という非常に苦しい選択をしなければなりません。日本で初めてのPFI事業は、「失敗の許されない社会実験」と言われてきましたので残念ではありましたが、経営改善に向けての運営体制の抜本的な見直しは止むを得なかったと思います。

これから医療センターが、県や市に大きく頼ることなく健全に運営できる「自立した病院」として、県民・市民の皆様の期待に応えられる病院となりますことを願っているところです。

地域の医療機関をはじめとする関係機関の皆様にはご支援、ご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



特集 高知医療センター看護局 新人研修の1年



高知医療センターの看護局が新人看護職員にどのような研修活動をしているか、今年4月から始まった、新たな教育研修プログラムの1年の試みをご紹介します。

保健師助産師看護師法および看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部改正に伴い、今年4月から新人看護職員の臨床研修等が努力義務化されました。これを受けて、高知医療センター看護局では、従来行ってきた新規採用者に対するプリセプターシップや研修を見直し、厚生労働省の新人看護職員研修ガイドラインに則った、新しい新人看護職員研修をスタートさせました。新人看護師1名に対して1名の実地指導者と部署ごとに教育担当者を置き、さらに看護局の教育担当者と協働しながら新人を組織全体で育てていく体制を整えました。

新人看護師研修プログラム（P4～P5を参照）は集合教育と部署教育から成り、入職時のオリエンテーションを含み年間20日間（約130時間）を集合教育に当てています。新たな研修プログラムには、一般病棟に配属された新人看護師達が経験しない部署の見学研修や、医療センターの医療サービスの一翼を担っているボランティア活動（ハーモニーこうち、ドナルド・マクドナルド・ハウス）の体験研修（写真1）も取り入れました。

見学研修は、外来・地域医療連携室・検査室、中央手術、中央診療（内視鏡室・アンギオ室）、集中治療、救命救急センターで行いました。一般病棟に入院されている患者さんが、受診から始まり、どんな検査や治療過程を経ていくのか、そして、どこへ帰っていくのかなど、患者さんの体験する世界を知ることは看護を行ううえでとても重要です。患者さんの立場で考えたり、他部署との連携やチーム医療について考える機会にもなればと考えています。



写真1：ハーモニーこうちでの研修

研修先の各部署では、教育担当の副科長が部署の特徴や看護についての講義と見学内容など約6時間の研修内容をプログラムし、スタッフも部署の看護について説明します。

研修の時期は6月～8月で、新人看護師達が一般病棟に配属された後、外来からの入院受け入れ、放射線検査等の説明や移送、内視鏡検査の準備や検査後の看護、手術を受ける患者さんやご家族への説明や準備などを実地指導者とともに経験している頃になりました。

次のページには、1年間の新人看護師研修の集合教育を掲載しています。地域完結型医療の担い手として、県民・市民のニーズに応えられる看護師の育成をめざし、職場全体で教育に取り組む組織文化の醸成に努めていきたいと考えています。

看護実践発表会のお知らせ

高知医療センターは開院6年目を迎えました。看護局では、新しい理念「命に寄り添い、こころをつなぐパートナーシップ」を掲げ、今年から地域の多様な施設で看護を行っている看護師の皆さまと高知医療センターの看護師が、日々の看護実践や研究の発表、意見交換を通して共に学び交流を深め、相互のパートナーシップを培いながら、県民・市民のニーズに応える看護をめざしていきたいと考え、看護実践発表会を企画しました。

基調講演には北海道医療大学の石垣靖子先生をお迎えし、「こころをつなぐ 看護をつなぐ」のテーマでお話をさせていただく予定です。各施設へ資料配布させていただき、演題募集をしています。発表会終了後には、看護師同士が顔と顔をつなぐための名刺交換会も予定しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

第1回高知医療センター看護実践発表会

テーマ：語り合い、学びあう私たちの看護

日時：平成23年2月11日（金）
13:00 ～ 16:10

講演：13:00 ～ 14:30
発表：14:40 ～ 16:10

会場：高知医療センター2階
くろしおホール

主催：高知医療センター 看護局
参加費：無料

※ 16:15 ～ 17:00
交流会（名刺交換会）を予定しています。

新人看護師研修 2010



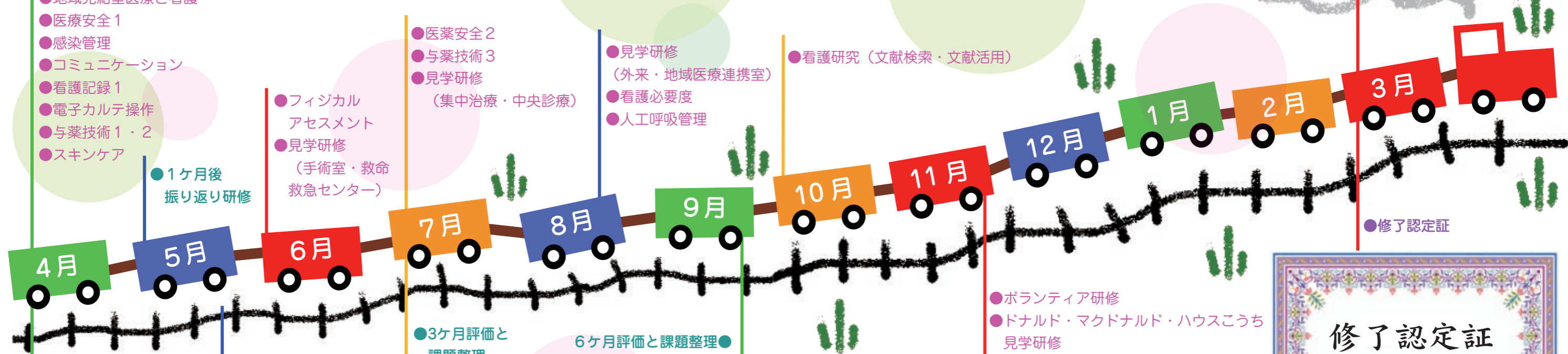
- 新規採用者オリエンテーション
- 看護局の理念と組織
- 専門職としての倫理と実践
- 地域完結型医療と看護
- 医療安全1
- 感染管理
- コミュニケーション
- 看護記録1
- 電子カルテ操作
- 与薬技術1・2
- スキンケア



- ・・・集合研修
- ・・・振り返り研修



- 看護記録2
- 1年間の評価と課題整理



- 安全確保の技術
- 活動と休息の援助技術
- 生体機能管理技術
- 配置部署見学

- 看護診断セミナー
- 食事援助技術1・2
- リーダーシップ1
- BLS研修

●3ヶ月評価と課題整理

●6ヶ月評価と課題整理
●多重課題トレーニング

●看護研究（文献検索・文献活用）

- 見学研修（外来・地域医療連携室）
- 看護必要度
- 人工呼吸管理

- ボランティア研修
- ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち見学研修

●修了認定証



部署教育OJT 部署教育OJT 部署教育OJT 部署教育OJT 部署教育OJT 部署教育OJT 部署教育OJT

特集 高知医療センター看護局・新人研修の1年

最後に見学研修の後、どのように日々の看護に活かしているかについて報告した『見学研修報告シート』から、一部をご紹介します。

外来・地域医療連携室・検査室

◆◆◆入院治療が終わっても、外来に通院されたり、抗がん剤治療を続けられている患者さんが多くいらっしゃることに改めて気づき、退院後も治療が続く患者さんをもっと長い目でみた看護をしたいと思いました。

◆◆◆入院の際は、どの患者さんにも不安があるということ念頭において、患者さんの心により添った看護をしていきたいです。

中央手術



◆◆◆手術室の独特の雰囲気や緊張感を体験し、患者さん自身がどのような状況で手術に臨まなければならないか知ることができ、患者さんの気持ちの理解や体験の理解につなげていけると思います。

◆◆◆術後のことを考えて、患者さんへの説明や手術の準備ができるようになりました。

◆◆◆患者さんの手術中の様子をイメージすることができるようになり、術後どのような観察が必要か考えることができ、術後の観察に活かしています。



中央診療（内視鏡室・アンギオ室）



◆◆◆検査を受ける患者さんの不安や苦痛が、想像以上に強いことを改めて認識しました。

◆◆◆検査についての声かけの重要性を学ぶことができたし、どのように声かけを行えばよいのか勉強になりました。

集中治療



◆◆◆入室予定の患者さんに対しては入室前訪問があり、十分な説明がありますが、患者さんご家族にとっては不安に思うことが多いと思います。予想される状態などできるだけ説明を行い、

患者さんが心構えのできるような関わりが必要だと思いました。

◆◆◆発語のない患者さんに対して、モニターやラインのことばかりに目を向けるのではなく、患者さんの表情やちょっとした動きを観察して声かけができるようにしていきたい。

救命救急センター

◆◆◆改めて観察の重要性を感じ、患者さんの小さな変化も曖昧にせず、何かあるのではないかと、以前より注意するようになりました。

◆◆◆自分が行う一つのケアや判断が患者さんの生命を左右することを忘れず、これからも緊張感を持ち患者さんがよりよく療養生活を送れるように関わることを考えるようになりました。



医療法人白菊会 白菊園病院

〒781-1154 高知県土佐市新居萩の里1番地
 TEL: 088 (856) 1101 FAX: 088 (856) 3364
 URL: <http://siragiku.jp>

(診療科)
 内科、消化器内科、循環器内科、外科、脳神経外科、整形外科、
 リハビリテーション科

(併設施設)
 医療法人白菊会介護老人保健施設「ヴィラフローラ」
 医療法人白菊会居宅介護支援事業所「ひなぎく」



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
12:00~17:00	●	●	●	●	●	×	×

※日、祝日、第2・4土曜日は休診

医療法人白菊会白菊園病院の病床数は療養型病床が93床、特殊疾患病床47床、回復リハ病床47床の合計187床です。昭和40年10月の創立以来、急性期の治療を終えられて自宅療養をめざす患者さんに対し、整形外科あるいは脳神経外科領域のリハビリテーションに力を注ぎ、早期に社会復帰するためのお手伝いをしています。また、寝たきりの方や経口摂取ができず、経鼻や胃瘻から流動食の方、気管切開をされている方などハンディキャップの大きい方も積極的に受け入れ、少しでも機能低下を防ぎ、全身状態の安定化に努めています。(白:白菊園病院、高:高知医療センター)

高:まず貴院が現在力を入れられていることをお聞かせください。
 白:理学療法士18名、作業療法士13名、言語聴覚士5名で構成するリハビリ部門は、病院はもちろんですが併設する介護老人保健施設「ヴィラフローラ」の利用者の皆様へのリハビリにもあたっています。脳血管疾患による手術後、あるいは股関節・膝関節などの骨折による手術後の集中的なリハビリテーションは、早期の機能回復に効果が顕著なため、回復リハ病床47床と通所リハ双方にスタッフ一同で頑張っています。職員の教育や安全な医療現場の整備、働きやすい職場の構築のほか、リハビリテーション学院からの実習生の受け入れなどにも力を入れています。

高:在宅、介護支援についてはいかがですか?
 白:在宅支援事業所「ひなぎく」に4名のケアマネージャーを専属させて、病院、老健および在宅間の連携を密にし、入院、入所あるいはデイケアにおいて利用される方々のご要望にお応えしています。今後もリハビリ部門の一層の充実を図り、訪問リハを始め、在宅における看護、介護サービスにも力をいれたいと考え

ています。

高:地域や他医療機関との連携について貴院での取り組みなどお聞かせください。

白:地域の行政や他の医療機関、施設などとの連携を深めていくため、病院、老健のそれぞれに在る相談員と居宅介護支援事業所「ひなぎく」のケアマネージャーを構成員とする地域医療連携室を立ち上げて、確固たるネットワークの構築に努めているところですが、未だ「道半ば」というところ。優秀な人材確保と地域の医療事情の収集、住民の皆様方とのコミュニケーション作りを急いでいます。地域の方々にもっともっと病院を知っていただくよう、広報活動や地域のイベントへの参加も奨励しています。

高:今後、貴院の目指されていくことはどのようなことですか?
 白:療養病床の再編成計画の先行きが不透明なことや、医師をはじめとする医療スタッフの確保がままならないときですから、病院の診療機能の確立にも少なからず影響を受けるところですが、医療療養型の病院ですので急性期の病院と在宅等との、言わば「亜急性期」、回復期、維持期の期間のリハビリを中心とする医療・介護に全職員が一丸となって取り組み、地域において信頼され、選ばれる病院を目指しています。

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございました。



写真:石元篤雄院長(前列左から2番目)と職員の皆さん

高知女子大学との包括的連携に関する協定締結式!

NEWS
Vol.17

11月17日(水)に高知女子大学本部、健康栄養学部等第1会議室において、「高知医療センターと高知女子大学との包括的連携に関する協定」の締結式が行われました。両機関が行う医療、健康、福祉、栄養分野における連携を推進し、相互の教育、研究の一層の進展と地域社会の発展に資することを目的としています。



日	曜	12月～					
12	日	高知県消化器内視鏡技師レベルアップ研修会 ※事前申込要（申込はひ切っています。）、参加費 1000 円					
		内容	カプセル内視鏡の概要	講師	オリンパスメディカルシステムズ（株） 中四国販売部 松山販売グループ 菅原 貴之 氏		
			当院における小腸内視鏡検査の現状		市立土佐市民病院 消化器内科 消化器センター長 松岡 正記 氏		
		質疑応答、カプセル内視鏡読影方法、小腸内視鏡機器を使用したのデモンストレーション					
場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	13:00～	対象	医療従事者		
お問い合わせ：たかさきクリニック胃腸科・内科 岡林 さよみ FAX:088(885)6201 Email:okabayashi@endoscopy.jp							
15	水	第4回救命救急センターセミナー ※事前申込不要、参加費無料					
		内容	日本中毒情報センターの役割 ～特に科学物質災害対応について～	講師	日本中毒情報センター つくば中毒110番 施設長 黒木 由美子 氏		
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	19:00～	対象	医療従事者 消防・警察関係者
お問い合わせ：高知医療センター 救命救急センター							
18	土	高知医療センタークリスマスロビーコンサート ※事前申込不要、参加費無料					
		内容	出演：Musica totti（ムジカ・トゥッティ） 子どもたちへのクリスマスプレゼントもあります。				
		場所	高知医療センター1F ふれあいロビー	時間	14:00～	対象	一般
お問い合わせ：高知医療センター まごころ窓口 電話：088（837）6777							
22	水	心のケアシリーズ2 ※事前申込不要、参加費無料					
		内容	患者の精神状態のアセスメントとケア	講師	高知女子大学 准教授 田井 雅子 氏		
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	18:00～19:30	対象	看護職員
お問い合わせ：高知医療センター 地域医療連携室 中島							
1/29	土	第15回地域医療連携研修会 ※事前申込不要、参加費無料					
		内容	脳卒中にならないために、なった時のために	講師	高知医療センター 救命救急センター センター長 森本 雅徳 氏		
			口腔ケアのすすめ～お口の中を探検してみませんか～		高知医療センター 歯科衛生士 野崎 愛 氏		
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	14:00～15:40	対象	医療従事者、一般
お問い合わせ：高知医療センター 地域医療連携室							
29	土	第16回（平成22年度第3回）高知医療センター地域がん診療連携拠点病院公開講座 ※事前申込不要 参加費無料					
		内容	最近の胃がん診療～診断と治療の実際～	講師	高知医療センター 一般外科・乳腺内分泌外科 医長 尾崎 和秀 氏		
			最近の肺がん治療		高知医療センター 呼吸器外科 科長 岡本 卓 氏		
			整形外科で治療するがん		高知医療センター 整形外科 医長 米田 泰史 氏		
場所	安芸商工会議所2F大ホール	時間	14:00～16:30	対象	医療従事者、一般		
お問い合わせ：高知医療センター 事務局医事課 電話：088（837）3000（代）（内線3455）							

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。背景に色がついている講座は是非、地域の医療機関の皆さまにご参加いただきたいものとなっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

緑のエプロンを着用し病院職員ではなさそうだけれど職員のように患者さんに接している。当院自慢のボランティアグループ「ハーモニーこうち」のみなさんです。病院ボランティアは患者さんへの療養上の支援を行います。例えば、患者さんやご家族の案内。入院フロアでの図書貸出や小児患者さんの見守り。あるいは、病院玄関や憩いの広場の花々、外来各所に配置された生け花など、観る人に安らぎを与えてくれます。このような活動のなかで、患者さんの側から病院を見えています。また、患者さんも病院職員に言えないことでもボランティアにはついやってしまうことも。つまり患者さんの“代弁者”と言える存在です。もちろん高知医療センターのことも大好きで、誰からも信頼される病院であってほしいと願う応援団です。ですから病院との信頼関係のもとに辛口の提言も行います。高知医療センターでは開院当初からボランティアと病院幹部との定期的な協議会も開かれ、その意見から改善につなげる努力もしているのです（まごころ窓口 中村）



平成22年12月1日発行
にじ 12月号（第62号）
責任者：堀見 忠司
編集人：地域医療連携広報委員
特別編集委員
発行元：地域医療センター
地域医療連携本部
印刷：共和印刷株式会社

高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL：088（837）3000（代）

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp

Kochi Health Sciences Center Home Page : <http://www2.khsc.or.jp/>